



委員会の動き～現地審査(本審査)に向けて～

防犯対策委員会では、防犯に関する意識調査を実施しました。市内在住の18歳以上の方、1,000人を無作為抽出し、507人から回答をいただきました。結果は以下のとおりとなりました。防犯対策委員会では、どのような対策の実施が効果的か議論を重ねながら地域活動をさらに活発化させ、安全で安心なまちづくりに繋がっていきたいと考えています。

以下、防犯カメラの質問を中心に調査結果をお知らせします。



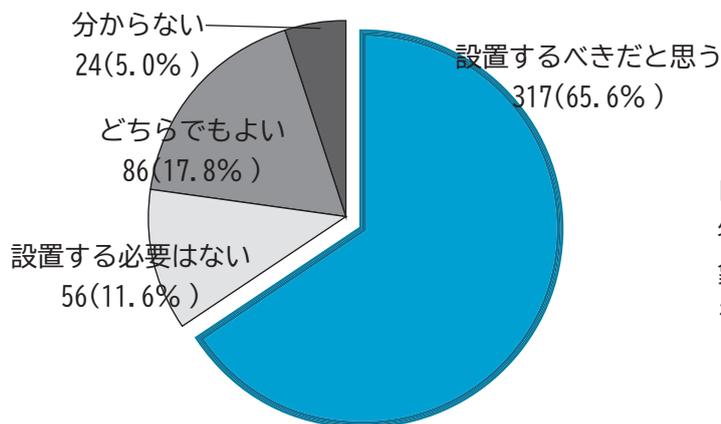
◆防犯対策で特に必要なものは何だと思いますか。



防犯対策で重要視しているものについて尋ねたところ、「防犯カメラの設置」が最も関心が高く、「通学路などの子どもの安全対策」、「警察による巡回パトロールの強化」と続きました。

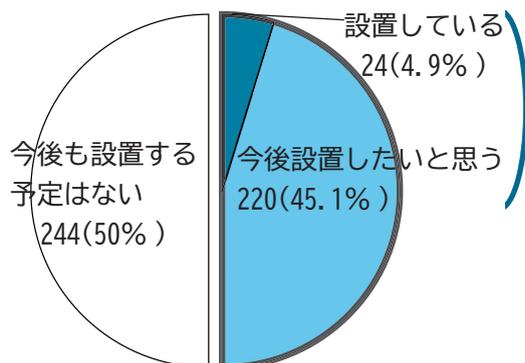
防犯カメラはトラブルが起きた時の記録だけでなく、犯罪への抑止力としても期待され、必要とされていると考えられます。

◆あなたの住む自治会(地域)で防犯カメラを設置すべきだと思いますか。



自治会(地域)での防犯カメラの設置について、「設置すべきだと思う」(65.6%)が最も多い回答となりました。市では、自治会や地域などを対象として防犯カメラの補助制度を設け、設置促進を図っていますので、ぜひ活用してください。

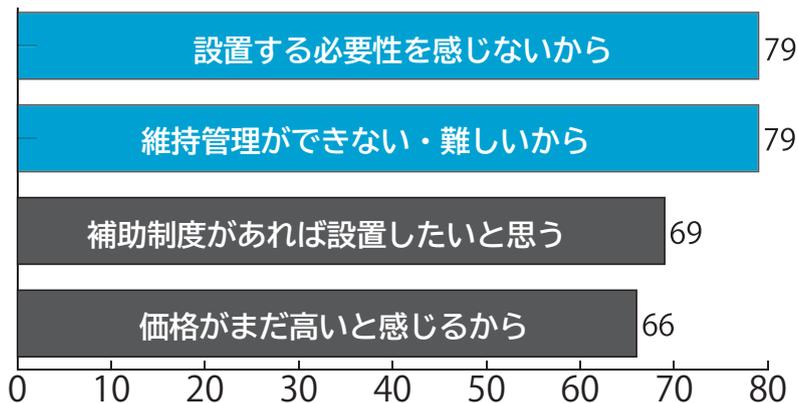
◆あなたの自宅では防犯カメラを設置していますか。



50%の人が個人での防犯カメラ設置に関心がある！

自宅に防犯カメラを設置していると答えたのは、4.9%とまだまだ少数派でした。「今後設置したいと思う」(45.1%)と合わせると全体の半数の方々が、個人での防犯カメラ設置に関心が高いことが分かりました。一方で半数の方々は関心が低いという事実も見えてきました。

◆「設置しないし、今後も設置する予定はない」と答えた人の理由は何ですか。



「設置する必要性を感じない」、「維持管理ができない・難しい」などの意見が多数派でした。また、「価格が高いと感じる」や「補助金制度があれば設置したいと思う」の意見が多く、金銭面での負担が防犯カメラ設置の普及が進まない理由のひとつではないかということが分かりました。

調査結果から、個人での設置より地域での設置を望む声が多いことが分かりました。

昨今、市内全体で昼夜を問わない空き巣や忍び込みの被害が報告されています。防犯対策を怠り、犯罪に巻き込まれないよう対策をしましょう。市には自治会向けの防犯カメラ設置補助制度がありますので、これを機に活用してみたいはいかがでしょうか。

また、地域での防犯対策だけでなく、個人での防犯全般について家族で話し合う機会をつくってみてはいかがでしょうか。



防犯対策委員会では、さまざまな「防犯対策」の活動を行っています！

◆防犯カメラの設置促進・啓発活動

自治会などでの対策

市の補助制度を紹介します。対象団体は、防犯カメラを設置する地域団体（自治会、まちづくり協議会、防犯組織その他一定の地域を基盤に活動を行う団体）です。補助金額は、対象経費の2分の1で限度額15万円となっています。

※詳しくは地域環境課 地域振興担当までお問い合わせください。

個人での対策

防犯カメラの市場価格は近年安価になり、1台約1万円で購入できるものもあります。工事費を含めても数万円で設置できるようになりました。また、調査結果より学生アパートの防犯カメラ設置率が低かったため、今後は個人や地域だけでなくアパート関係者への設置普及にも努めます。

◆その他の活動

地域の見守りの充実

～園児から大学生の
防犯意識の向上～

「健康・安全・郷育プログラム」を拡充し、子どもの防犯意識の向上を目指します。

「学生見守りの家」を整備し、大学生への地域の見守りを強化します。

詐欺に対する防犯意識の向上継続的な啓発活動の実施

～詐欺撲滅ソング・体操の普及～

リズムオブラブが作成した「電話詐欺撲滅体操」をきっかけに、詐欺被害防止に関心を持ってもらうよう、普及活動を行います。





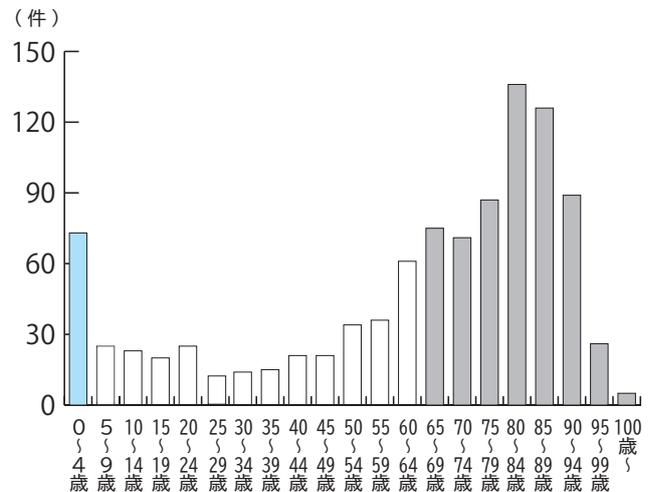
対策委員会の動き～親と子の安全対策委員会～

5月5日の「子どもの日」にちなんで、今月は「親と子の安全対策委員会」の取り組みについて紹介します。

市内における救急搬送件数を年齢層別に見ると、65歳以上の高齢層に次いで、0～4歳の乳幼児の救急搬送件数が多くなっております。

※一般負傷

交通事故や労働災害など負傷種別表に分類されない不慮の事故のこと。転倒、転落など。



▲一般負傷による救急搬送の年齢層別件数 (2013～2017年合計)

アンケート調査

「家庭内における乳幼児の事故防止」に重点を置き、市内の保育園(所)及び認定こども園に通う園児の保護者を対象に、子どもが危険に遭った(遭いそうになった)場所やものについて、アンケート調査を実施しました。結果は下表のとおりとなりました。

1位	ドアやサッシなどで指をはさむ
2位	ソファやベッドからの転落
3位	家具の角などによる切傷・打撲
4位	外出時の転落・転倒(自転車以外)
5位	入浴時の事故(転倒・おぼれる)

▲ヒヤリ・ハット事例の多い事象(上位5項目)

◇結果の分析

子どもが事故やけがに遭わないよう、保護者が何らかの対策を行っているかについて調査したところ、上位3番目までは「意識が低く、対策もしていないために起こってしまった(起こりそうになった)」が、4番・5番目では「外出時や入浴時の事故では気を付けていたが、起こってしまった(起こりそうになった)」ということがわかりました。

その他、子どもの年齢によって、対策をしなければならぬ事故やけがが異なるため、年齢に合わせた対策が必要であることもわかりました。

今後は、アンケート調査を活用し、乳幼児の事故やけがが減少するよう、啓発などの活動を行ってまいります。

現地審査を実施します！

平成30年度から取り組みを開始したセーフコミュニティ活動が、いよいよ今月の13日と14日に、オンラインで海外の審査員による現地審査を実施します。これまで広報「つる」でもお知らせしてきた約3年間にわたる取組活動を報告し、その成果が認められると国内17番目の認証自治体となります。

当日は、感染症対策を行いながら実施しますので、市民の皆さまもぜひ会場に足をお運びください。

日時 5月13日(木)11時～17時15分、14日(金)13時～17時30分 場所 市役所3階大会議室

※詳細なスケジュールについてはホームページをご確認ください。

セーフコミュニティ

国際認証取得の

内定を受けました！

問合先

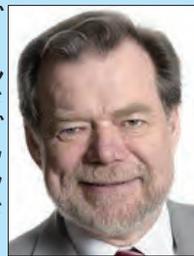
地域環境課 地域振興担当

5月12日から14日の3日間にわたり、セーフコミュニティ現地審査が実施されました。昨年11月に実施した事前指導と同様に、オンラインにて開催し、外傷サーベイランス委員会と6つの対策委員会がこれまでの3年間に渡る活動を報告しました。海外の審査員より、3年間の活動内容が7つの認証基準を満たしていることが伝えられ、国際認証取得の内定を受けました。8月に予定している認証式を経て、国内17番目、山梨県内の自治体としては初めてのセーフコミュニティ認証自治体となります。



▶ 現地審査終了後の記念撮影

審査員からの 講評内容



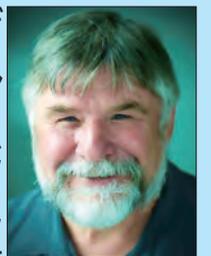
グールドブランド・シェーンボリ氏

○現地調査の前に申請書を見せていただいたが、取組内容は素晴らしい、報告によりセーフコミュニティの認証にふさわしいことを確信した。

○地域の人が主体となって取り組んでおり、協働のまちづくりという考えが市に根付いていることがよくわかった。

○地域の安全診断を行い、市の状況を把握し、多角的に取り組んでいてゴールに向けてしっかりと取り組まれていた。

○取組を始めて3年であるので、数値の変化はまだ見えづらく、新型コロナウイルス感染症の影響もあって、取組に苦労したと思うが、再認証の際には数値の変化を聞かせてほしい。



デイル・ハンソン氏

○都留市の活動は将来に向けた投資だと感じ、感銘を受けた。虐待などの取組はもちろん、防犯の取組を地域全体で行うこと次世代を担う子ども達がしっかり育つことに繋がっていく。

○数字は、取組を実施していく上で、非常に重要であるが、市全体の数字を表しているとも限らない。表に出ない部分を明らかにすることも今後は重要なる。



チヨ・ジュンピル氏

○都留市の特徴は市民が主体的に参画していることであるので、セーフコミュニティを通して地域力が高まったと思われる。

○体系的かつ組織的に取組が実践されていたのが確認できた。

○市民の協働という取組は構築されていると思うが、地域だけでは、国や県による協力や支援も大きな力となる。



【推進協議会】 平成30年9月
推進母体であるセーフコミュニティ推進協議会を発足しました。



【取組開始宣言】 平成30年4月
市制記念式典においてセーフコミュニティ取組開始宣言を行いました。



【ベスト贈呈式】 令和元年8月
活動の際に着用するベストを経営者連絡協議会より寄贈していただきました。



【合同対策委員会】 平成30年10月
6つの対策委員会が、毎月、課題や取組を話し合ってきました。



【各対策委員会活動】（左から交通安全、防災・減災、防犯、親と子の安全）
①成人式で若者に対して意識調査を実施しました。 ②災害時の応急対応の講習会を実施しました。
③産業まつりで防犯意識調査を実施しました。 ④産業まつりで虐待意識調査を実施しました。



【現地審査】 令和3年5月
これまでの3年間の取組を、6つの対策委員会が報告しました。



【事前指導】 令和2年11月
現地審査に向けての指導を受けました。

これからも、市民の皆さまとともに
「安全・安心なまち セーフコミュニティ つる」
を継続していきます。





交通事故多発地点マップを活用して、事故が起こらないまちへ！！ －交通安全対策委員会－

交通安全対策委員会では、市内で発生した交通事故を分析し、市民の皆さまに事故多発地点を知っていただくため、「交通事故多発地点マップ」を作成しました。

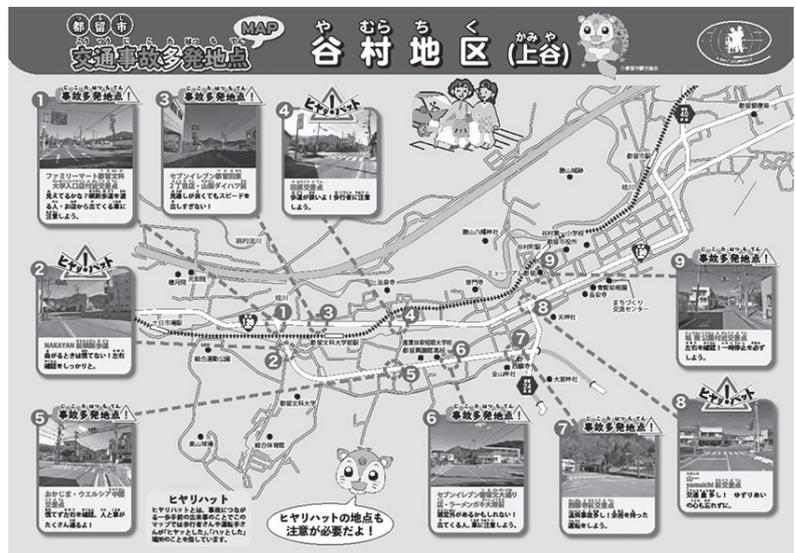
このマップには、実際の事故発生箇所だけでなく、対策委員会が昨年、市民約500人を対象に実施した交通安全に関するアンケート調査で、通勤や通学などの際に思わず「ヒヤッ」としたり、「ハッ」とした場所をヒヤリハット※地点として載せております。

市内全地区の交通事故多発地点マップを市ホームページに掲載しておりますので、家庭や職場、学校で活用してください。

※ヒヤリハット＝重大な事故には至らないが、「ヒヤッ」としたり「ハッ」としたりした出来事



▲委員の皆さんがマップへの企業(店舗)
▼名の掲載依頼をしてくださいました。



▲交通事故多発地点マップ
各地区のマップは右記QRコードからアクセスできます。



SCロゴマーク

5月にセーフコミュニティ認証取得の内定を受けましたので、今月より広報に右記の国際認証マークを掲載していきます。

このロゴマークは、地球儀が「全ての国・地域・生活環境が対象となり世界規模の活動」であること、ヒトが「生まれてから亡くなるまでの全てのライフステージ」を示し、「全てのヒトが共に取り組む」ことを意味しています。

今後、セーフコミュニティ活動の際には、このロゴマークが登場してきますので、ぜひ覚えてください。





「健康な」身体づくりと「安全な」住環境の整備で、 転倒・転落による事故やけがを減らしましょう！！ －高齢者の安全対策委員会－

高齢者の安全対策委員会では、市内の高齢者が、転倒や転落が多いというデータから、健康な身体づくりのため「今、生きてます体操」と「楽ひざ体操」の普及に取り組んでいます。CATVでも放映していますので、ご自宅で気軽にできる健康づくりとして、皆さまと一緒に取り組んでみましょう。

また、日頃過ごす時間が長く、安全とされている自宅でのけがが最も多いことから、自宅で転びやすい場所と、その対策についてまとめたリーフレットを作成しました。

このリーフレットを活用して、一度ご自身の住宅を点検してみませんか？



▲自治会長の皆さまに、回覧板を活用した体操の周知活動を行いました。



▲新たな体操動画を作成する予定ですので、一緒に体操してくれる方や団体を募集しています。

転倒予防のために住環境を見直してみよう。

一般負傷の危険ランキング！
平成25年から平成29年における高齢者の一般負傷による救急搬送の受傷原因別件数が多いのは次のとおりです。

1位 転倒
2位 転落
3位 食物の誤飲・誤嚥

全体の約半数以上が環境に慣れていると思われる自宅の家屋内で起きており、日ごろ過ごす時間が長く、安全とされている場所での転倒が多くなっています。

転びやすい場所

①廊下
②自室・寝室
③居間・リビング
④浴室・脱衣所
(転倒による救急搬送の場所別件数より)

日本家屋の特徴として、**段差がとて多く、転倒するリスクが高い。**

廊下から部屋への段差に引っかけやすい状況

玄関から家の中に入る際にも段差がある

浴槽が深い

滑りやすいタイル

▲いきいきプラザに設置しています。住環境の見直しに活用してください。

セーフコミュニティ認証式典を開催します

6月号の広報でもお伝えしましたとおり、セーフコミュニティつるは、現地審査を経て、国際認証の内定をいただきました。そこで、下記日程のとおり認証式典を開催します。3年間に渡る市民の皆さまの取組も発表予定ですので、ぜひご出席ください。

日時 8月21日(土) 14時～17時(予定) 場所 都の杜うぐいすホール 大ホール

※当日は、施設の新型コロナウイルス感染拡大防止ガイドラインに基づき実施いたします。



国際認証を

取得しました！

問合先 地域環境課 地域振興担当

世界基準の安全で安心なまちづくりを指し、5月に実施した現地審査において国際認証の内定をいただいていたことから、8月21日(土)に国際認証の効力を発する合意書署名式を開催しました。



合意書署名式では、都留市セーフコミュニティ推進協議会の会長である市長をはじめ、都留市地域協働のまちづくり推進会連絡会会長の2名と市議会議長による合意書の署名を行い、認証盾・認証旗の授与などが行われました。

また、平成30年度のセーフコミュニティの取組開始以降、本市のアドバイザーとして助言をいただいている日本セーフコミュニティ推進機構(JISC)の白石陽子代表理事からも記念品を贈呈され、お祝いのメッセージもいただきました。メッセージの中で「都留市の強みは、幅広い年齢層の市民の方々が主体的に取り組んで、活動しており、既に認証を取得している国内外の自治体の模範となっている」と述べられ、本市の取組を高く評価してくれました。



新型コロナウイルス感染症の影響により、式典を開催することができなくなり、海外の認証審査員をお招きすることや市民の皆さまとともに認証の喜びを共有することができませんでしたが、この合意書の署名により世界421番目、国内17番目のセーフコミュニティ認証都市となりました。

対策委員紹介

対策委員会委員として
セーフコミュニティ活動に
取り組んでこられた市民の
皆さまに、これまでの活動
の感想や今後の意気込みに
ついて聞いてみました。

高齢者の安全対策委員会

舟越 あゆみ 副委員長

高齢者が健康に安全に生活できるよう活動しています。新型コロナウイルスの影響で、近所の人と集まり体操などができない日々を過ごしています。気兼ねなく集える日まで、CATVや回覧板・広報などを活用して、活動していきたいと思っています。



防災・減災対策委員会

中村 吉秀 委員

私たちは、防災・減災に関する取組を行っています。セーフコミュニティの取組は、目標達成に向けて市民と行政が一体となって推進できる、全国でも先進的な官民共創の取組だと実感しています。



親と子の安全対策委員会

海野 聖子 委員

私は助産師として、親子で命や身体のことを考えるきっかけを提供したいと考えています。「いつか子育てしたい」「生まれてきてよかった」と親子で思ってもらえるような取組をこのセーフコミュニティを通して行っていきます。



交通安全対策委員会

佐藤 大輔 委員

私は生まれも育ちも都留市なのですが、セーフコミュニティの活動の中で自分の知らない都留市について理解することができました。これからは様々な活動を率先して行い、より良い都留市を築けるように努力したいです。



心の健康対策委員会

飛木 優花 委員

安全・安心なまちづくりは、公的な機関の活動はもちろんですが、市民の皆さんの協力があつて初めて実現するものだと実感しました。私たち学生も市民の一員であるという自覚を持ち、市の更なる発展に寄与していきたいです。



防犯対策委員会

野木 忠一 委員長

セーフコミュニティの活動にやりがいを感じながら参加しています。活動内容は、犯罪の原因を分析して対策の議論を行いました。今後は、実際の活動を通して安全・安心なまちづくりに少しでも貢献できるようにしたいと思います。



市民の皆さまのご協力により、無事、国際認証の取得となりましたが、セーフコミュニティの認証はゴールではなく、世界基準の安全・安心を実現する仕組みを備えることができたスタートラインになります。これからも、「安全・安心なまち セーフコミュニティ」つるゝこのまちには、セーフコミュニティがあるゝを合言葉に、市民の皆さまと共に世界基準の安全・安心なまちを継続していきますので、ご協力をよろしくお願いいたします。



「自分は大丈夫」と思わずに！ 特殊詐欺にご注意ください

— 防犯対策委員会 —

10月11日(月)～20日(水)は、全国地域安全運動期間、10月11日は「安全・安心まちづくりの日」と定められており、全国で犯罪防止のための活動が行われています。

防犯対策委員会では、取組の1つとして、「電話詐欺被害の防止」活動を進めています。電話詐欺は、「特殊詐欺」の1つです。昨今、特に電話による還付金詐欺の被害が多くなっています。

県内の電話詐欺のアポ電件数・被害発生状況

	8月	2021年累計
アポ電件数	56件	693件
被害件数	5件	40件
被害額	約3,110万円	約1億2,819万円

※8月31日現在(暫定値)

出典：山梨県警察 HP

「もしかして詐欺？」怪しい電話がかかってきたら疑いましょう！

保険料還付金のお知らせをお送りしましたが、ご確認くださいね。期限が本日までなので、手続きをしないといけないと受け取れなくなります。



手続きはお近くのATMでできます。操作方法はお電話でお伝えします。

○電話でお金のお話が出たら疑いましょう！

○「本日まで」と焦らせる言葉に惑わされないようにしましょう！



○ATMでお金が返ってくることは絶対にありません！

○口座番号や暗証番号は絶対に教えないでください！



～電話詐欺に騙されない心得～

- ①電話でお金のお話が出たら要注意
- ②「非通知」の電話で市役所や金融機関などを名乗ったら要注意
- ③ATMでお金が返ってくることは絶対にない！
- ④契約や手続きはすぐに返事をせず、内容をよく確かめてゆっくり考える
- ⑤困ったときは迷わずに警察や市役所などへ相談！

防犯対策委員会では、啓発番組も作成しています！YouTubeで公開していますので、ぜひご覧ください。山梨県警察が詐欺被害に遭った人に行った調査では、「被害に遭わない自信があった」と70%以上の人が答えた、という結果も出ています。

特殊詐欺は、誰が被害者になってもおかしくありません。誰もが被害者にならないように、皆さんで対策をしましょう！



セーフコミュニティ国際認証の記念品を展示しています！

現在、市役所本庁舎入口玄関にて8月21日(土)に実施した合意書署名式で、国際セーフコミュニティ認証センターより授与された国際認証の認証盾、認証旗と合意書を展示しています。併せて、これまでの取組活動を掲載した広報誌や当日の写真なども展示してあります。

10月末まで展示していますので、市役所にお越しの際はぜひご覧ください。



11月は「児童虐待防止推進月間」

問合せ先 健康子育て課 子ども家庭担当

令和3年度「児童虐待防止推進月間」標語

～189(いちはやく)「だれか」じゃなくて「あなた」から～

児童虐待に関する相談対応件数は増加傾向にあり、子どもの生命が奪われる重大な事件も後を絶たないなど、深刻な状況が続いています。

児童虐待は早急に解決すべき問題であり、子どもの「命」と「権利」、そしてその「未来」は社会全体で守らなければなりません。

厚生労働省では、毎年11月を「児童虐待防止推進月間」とし、家庭や学校などの社会全般に、児童虐待問題に対する深い関心と理解を得ることができるよう、啓発活動など種々の取り組みを実施しています。

身体的虐待	殴る、蹴る、叩く、投げ落とす、溺れさせる、縄などで拘束する など
性的虐待	子どもへの性的行為、性的行為を見せる、ポルノグラフィの被写体にする など
ネグレクト	家に閉じ込める、食事を与えない、ひどく不潔にする など
心理的虐待	言葉による脅し、無視、兄弟の間で差別子どもの前で家族に暴力をふるう など

児童虐待は上記の4種類に分類されます。

児童虐待かもと思ったら…



連絡は匿名で行うことも可能です。連絡者や連絡内容に関する秘密は守られます。お住まいの地域の児童相談所につながります。オレンジリボンには子どもの虐待を防止するというメッセージが込められています。



セーフコミュニティ つる

～世界基準の安全・安心なまちづくり～ 第42号

問合せ先 地域環境課 地域振興担当

これって「虐待？」

～児童虐待について理解を深めましょう～ —親と子の安全対策委員会—

市民への意識調査の結果、心理的虐待や性的虐待にあたる行為を虐待であると認識していない方が多いことが分かりました。そのため、親と子の安全対策委員会では、児童虐待防止のための広報・啓発活動として、虐待と認識されにくい行為をわかりやすく紹介する動画を作成しました。

虐待に対する意識調査

図1. 兄弟・姉妹を色々な場面で比較する

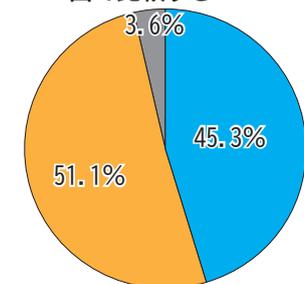
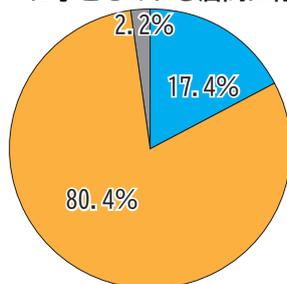


図2. お風呂上りに下着も着けずに子どものいる居間に行く



■ 虐待である ■ 虐待でない ■ どちらでもない



大人が大したことではないと思っている事柄であっても、子どもたちにとっては苦痛に感じられる行為が少なくないのではないのでしょうか。大人目線で物事をとらえるのではなく、常に子ども目線で考えた行動により、児童虐待をなくしましょう。



セーフコミュニティ つる

～世界基準の安全・安心なまちづくり～ 第43号

問合せ先 地域環境課 地域振興担当

日常生活から防災・減災に対する意識をしてみましよう！

－防災・減災対策委員会－

「防災カフェ」の開催！

防災には、女性の視点や女性の考えも非常に重要です。女性が防災活動へ参加できるよう、まずは気軽な気持ちで「防災」をテーマにおしゃべりする「防災カフェ」の活動を始めています。

衛生学的手洗い講座の開催！

災害に遭った後や避難した後の健康リスクを軽減させるための知識や技術を広める活動をしています。健康科学大学生が作成した「衛生学的手洗い」の動画で、自宅や避難所でも使える手洗い方法の講座を実施しています。

防災無線の情報をどこでも入手！

防災無線放送の内容をメールで受け取れる「防災つるメール」などを広める活動をしています。市内の商店などに、チラシを置いてあります。



防災つるメール

家具などを固定していますか？

災害発生時に備えて、各家庭で防止対策を講じてもらえるよう、活動しています。今年度は、防止対策状況を把握し、家具・家電の転倒・落下防止対策の重要性を知っていただくような、アンケート調査をプレ実施しました。下記はアンケートの抜粋ですが、皆さんのお宅の対策はいかがですか？

タンスやテレビなどの家具を固定している	完了・未実施
タンスなど家具類の上に物を置いていない	完了・未実施
ガラスが室内に散乱した時に備えて、手袋などを用意している	完了・未実施

「つる防災ラボ」スタート！

災害に強い体制を作るために「つる防災ラボ」を開催しています。

初回は、自分だけの避難行動計画の「マイタイムライン」の作成方法について、動画で学びました。いつどこに避難すればいいのか考える手順を学ぶことができますので、ぜひご覧ください。



都留市セーフコミュニティ YouTube

安全・安心フォーラム つる を開催します！

セーフコミュニティ国際認証を記念して開催します。詳細なプログラムは広報1月号でお知らせします。

日時 令和4年1月22日(土)13時30分～16時30分(予定)

場所 都の杜うぐいすホール大ホール

市立病院 病棟を紹介します！

問合せ先 市立病院 事務局

病棟の概要

3階病棟は内科42床、地域包括ケア病床10床の計52床の混合病棟です。内科病棟は急性期疾病から糖尿病などさまざまな方が入院しています。地域包括ケア病床は症状が安定した患者様が60日を上限に、安心して地域へ復帰していただけるよう、支援を行うことを目的とした病床です。



施設・スタッフ

病棟では、HCU（高度治療室）4床があり、緊急時や重症管理が行えるよう整備しています。スタッフは内科医4名、看護師25名、看護助手3名です。地域医療連携室・理学療法士・栄養士など様々な職種のスタッフがチーム一丸となり、患者様に合わせたケアを提供しています。

また、週に1回、病状や治療方針などについてカンファレンスが行われております。多職種で検討、情報共有を行うことで、よりよい治療方針を見出しています。

患者、ご家族の皆さまへ

現在、面会禁止とせざるを得ない状況となっており、皆さまにはご不便をおかけしております。このような状況だからこそ、より一層、皆さまに寄り添い、質の高い医療・看護が提供できるよう、スタッフ一同日々努めて参ります。

患者満足度アンケートを実施

市立病院ではより良い病院を目指して、毎年患者満足度調査を実施しています。今年は12月6日(月)～17日(金)で実施いたします。

いただいたご意見は、今後の病院運営に活かしてまいります。是非ご協力をお願いいたします。



セーフコミュニティ つる

～世界基準の安全・安心なまちづくり～ 第44号

問合せ先 地域環境課 地域振興担当

「安全・安心フォーラムつる」を開催！

セーフコミュニティの国際認証取得を記念して、都留市のセーフコミュニティの取り組みについて市民の皆さまに周知する「安全・安心フォーラムつる」を開催します。

より安全・安心になるために、日々活動しているセーフコミュニティの活動について地域の皆さまに知っていただく機会としておりますので、ぜひご参加ください。当日は会場の感染症対策ガイドラインに則って開催します。※事前申込が必要です

日時 1月22日(土) 13時30分～16時45分(受付13時～) **会場** うぐいすホール大ホール

- 内容**
- オープニングセレモニー 都留文科大学合唱団
 - 第1部 基調講演～セーフコミュニティの基礎・都留市のいいところ～
 - 第2部 6つの対策委員会からの取組報告

申込方法 1月13日(木) 17時までに下記のいずれかの方法でお申し込みください。

①電話 ☎ (43) 1111

②メール chiikishinkou@city.tsuru.lg.jp

件名を「安全・安心フォーラムつる申込」とし、本文に名前と住所、連絡先を記載してください。※QRコードからメールでの申込ができます



申込が完了した方に、開催日の5日前を目途に入場券を郵送します。当日、必ずお持ちください。

地域で安全・安心の活動が広がっています！

安全マップお披露目式



11月25日に、東桂中学校において作成された安全マップのお披露目式を行いました。このマップは、1年生が授業の一環で作成したもので、位置情報を利用し、電子上の地図に学区内の危険箇所が記載されています。

今回は、「防災・減災」「交通安全」「防犯」の3つの対策委員会の代表が出席し、実際に画面を見ながら対策委員会の活動やマップの内容などについて情報交換しました。

生徒からは、「今日アドバイスをいただいた内容を活かしながら、このマップが全学年、そして市全体に広がってくれればいいと思う」「安全・安心のことは大人に任せっきりにするのではなく、私たち中学生も関わっていかないといけないと思った」と頼もしく話してくれました。

防犯イベント@都留文科大学



11月25日に、防犯対策委員会では、都留文科大学において、防犯イベントを実施しました。イベントでは、学生が体験した空き巣被害や不審者情報、怖い思いをしたことなどについて聞き取り、ご協力いただいた方に啓発物品をお渡ししました。

当日は、交通安全対策委員会や大月警察署生活安全課の方にもご協力いただき、若者が第一当事者となる事故の防止や反射材の着用、学生が巻き込まれる犯罪の危険性などについても周知しました。



セーフコミュニティ つる

～世界基準の安全・安心なまちづくり～ 第45号

問合せ先 地域環境課 地域振興担当

一人で悩まず 相談しよう 誰かと話そう 誰かと悩もう ～心の健康対策委員会～

現在、わが国では、病気以外の死亡原因のうち、自殺の占める割合が高く、地域での予防活動が重要です。そこで、心の健康対策委員会では、地域での活動が広がるように、現在、4つの取り組みを行っています。

ゲートキーパーの育成

ゲートキーパーとは、悩んでいる人に気づき、声をかけ、話をきいて、必要な支援につなげ、見守る人のことです。多くの方にゲートキーパーになっていただけるよう、養成講座の開催を予定しています。

優良企業の認定

ゲートキーパー養成講座やストレスチェックなどの心の健康対策などを社内で行っている企業や事業所を認定していきます。

若者応援隊の結成

20代の若者の自殺が多い、心を病む人が多いことから、若者の悩みや相談を聴いてくれる身近な存在の人たち（若者応援隊）を結成していきます。

メッセージカードの作成

誰に、どこに相談したらいいかわからないというときに活用してもらえるよう、相談先を載せたメッセージカードを作成し、手に取りやすい場所に設置していきます。

メッセージカードのデザイン募集

メッセージカードのデザインを募集します。カードのサイズは横9.5cm×縦5.5cmで、裏面に相談窓口などを掲載します。

応募締切 2月28日（月）

応募内容 下記のどちらかのメッセージを入れたカードのデザイン

- ①『早く気づいて「こころのSOS」サイン
～一人で悩まず 相談しよう
誰かと話そう 誰かと悩もう～』

- ②『ちゃんと眠れていますか？』

応募方法 郵送、メール、または健康子育て課へ持ち込み

応募先 〒402-0051 都留市下谷 2516-1 健康子育て課宛

メール kenkouzukuri@city.tsuru.lg.jp



つる湧水の里ウォーク 2021が終了しました！

問合せ先 生涯学習課 スポーツ振興担当

スマートフォンアプリを利用したスポーツイベントを行い、多くの方々にご参加いただき、市民の皆さまの健康への意識の高さを改めて実感できるイベントとなりました。

イベントは終了いたしました。スマートフォンアプリ「スポーツタウン WALKER」は引き続きご利用いただけます。アプリのダウンロード方法などは、市ホームページをご覧ください。



左記QRコードを読み込み
市ホームページをご確認ください



1日の歩数や歩行距離が
確認できます！



ランキングでやる気も
アップ！



「安全・安心フォーラムつる 2021」を開催しました！

市民の皆さまにセーフコミュニティ活動を知っていただき、安全・安心の意識向上を目的とした安全・安心フォーラムを開催しました。このフォーラムは多くの市民の皆さまをお招きし開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の急速な拡大を受け、各対策委員会の取り組み活動を映像で収録し、後日市ホームページやCATVなどでご覧いただく形に変更しました。ぜひご覧ください。

今後、このフォーラムは毎年開催する予定です。多くの方の取り組みを知っていただき、活動を市内に広げていきます。

放送予定日 4月1日（金）～3日（日）13時30分～、19時～の計6回



セーフコミュニティ活動に参加してみませんか？

現在、大学生から高齢者の方まで幅広い年齢層の方が、6つの対策委員会に分かれ活動しています。一緒に活動してくれる方を募集していますので、皆さまのご参加お待ちしております。

応募資格 市内在住で会議・活動に参加できる方

募集人員 各対策委員会とも2名程度

申込方法 申込書に必要事項を記入し、直接提出、郵送、メール、FAXのいずれかの方法により提出してください。申込書は地域環境課窓口にあります。ホームページからもダウンロードできます。

申込・問合せ先 地域環境課 地域振興担当 ☎ (43) 1111
郵送 〒402-8501 都留市上谷1-1-1
メール chiikishinkou@city.tsuru.lg.jp
FAX (43) 5049



新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う外来の制限

問合せ先 市立病院 事務局

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、外来受診の際には下記のとおり制限させていただきます。

- 直近3日前までに発熱、喉の痛みなどの症状があった方は、来院前に電話連絡をお願いします。
- 病院入口にて、直近3日前までに発熱、喉の痛みなどの症状の有無について確認を行っております。（予約診療の方を含みます。）
- 小児科を受診される方は、受診されるお子様と最小限の保護者の方のみでの来院をしてください。（発熱などの症状がある場合は、院内に入る方全員の検査を行います。）
- 発熱、喉の痛み、鼻水などの症状により受診される方につきましては、検査を行い陰性確認後の受診となります。（この場合の受診は、電話連絡のうえ、午前中に受診してください。）
- 発熱などの症状がない方で感染の不安を感じる場合には、県が実施している薬局での無料抗原定性検査をご活用ください。なお、薬局での無料抗原定性検査を利用される方は、必ず事前確認のうえご利用ください。



病院入口にて、手指消毒・検温・発熱、喉の痛みなどの症状の有無について職員が確認を行っております。ご迷惑をおかけいたしますが、ご協力をお願いします。